

## 第6回 直方市中心市街地活性化協議会 議事録

### (開催要領)

開催日時：平成21年3月12日(木) 10時00分～11時00分

場 所：直方商工会議所 4階 大ホール

出席委員：委員総数 30名 出席委員 22名

### (議事次第)

1. 開会

2. 議事

(1)直方市中心市街地活性化基本計画(案)について

(2)直方市中心市街地活性化基本計画(案)に対する意見について

(3)その他

### (配布資料)

○直方市中心市街地活性化基本計画(案) (H21.1.13版)からの 変更部分資料 P49・50)

○直方市中心市街地活性化基本計画(案)に対する意見書(案)

### (議事概要)

定刻、前記のとおり出席があったので、事務局より開会を宣し、内藤会長の挨拶。

内藤会長の挨拶として、直方市が国との最終調整を進める中、1月27日付にて直方市長より本協議会に対して、基本計画に対する意見書の提出が求められたことが報告された。

尚、今協議会にて協議会意見書(案)の協議及び承認後、後日、市長に対して提出することとなることが報告される。

挨拶後、内藤会長が議長となり、議事に移る。

### (1)直方市中心市街地活性化基本計画(案)について

直方市産業振興課小林課長より、直方市中心市街地活性化基本計画(案)について、前回第5回協議会にて報告された基本計画(案)より、内閣府との協議の結果、変更された項目について説明が下記の通り行われた。

目標②「歴史と文化を活かした新たな魅力の発掘による賑わいの向上」に関する指標である「街なか文化施設利用者数」に関する目標数値に対し、内閣府による変更が求められた。

このことから、1月に4文化施設に対し、アンケートを実施。このアンケート結果を基に、「街なか文化施設の年間利用者数の合計の目標値(平成25年度)」を前回協議会に報告された49,483人/年(現状の数値から19.2%増加)から44,500人/年(現状の数値から約6.6%増)に修正されたことが報告された。

配布資料参照(直方市中心市街地活性化基本計画(案)(H21.1.13版)からの変更部分資料 P49・50)

### (2)直方市中心市街地活性化基本計画(案)に対する意見書(案)の承認について

事務局より直方市中心市街地活性化基本計画(案)に対する意見書(案)の説明が行われ、出席委員による協議の結果、本意見書(案)の承認を得る。

後日、本協議会の意見書として、直方市長に対して本意見書を提出することが確認された。

配布資料参照（直方市中心市街地活性化基本計画(案)に対する意見書(案)）

### (3)その他

議事後、福岡県中小企業振興課 山田氏 より、以下のとおり意見をいただく。

基本計画は作成するだけでなく、意見書にも挙げられているように、いかに確実に実施していくかということが重要である。

基本計画の目標値の達成が最終的な目標ではなく、直方市の中心市街地が賑わいを取り戻すかということが最終目標となる。

そのためにも、事業主体・目的がしっかりとした事業展開が重要であり、直方市だけで出来ることではなく、この協議会の役割が益々重要となる。

直方市の中心市街地活性化に県としても出来る限りの支援は行いたい。

是非、直方市の中心市街地が県内の成功事例となって頂きたい。

引き続き、中小機構 九州支部 サポートマネージャー 柿崎氏 より、以下のとおり意見をいただく。

基本計画に対する意見書を出す段階となったが、これが直方市中心市街地活性化の始まりだと考えて頂きたい。

直方のまちづくりに対する想いが、基本計画として、ようやくまとまった。

今後は、いかにしてこの計画を表現し、事業が5年間に着実に1歩1歩実施されることが重要となる。

そのために、事業主体はもちろん、協議会の皆様が各々力を出し合うことが非常に大事となる。

基本計画の認定後ではなく、是非今から具体的な事業に取り掛かって頂きたい。

その事業実施に当たっては、中小機構・オブザーバーとの連携を大事にして頂き、当中小機構九州支部の支援体制・サポート事業を活用して頂きたい。

以上により、議事が終了したので11時00分閉会した。